

ケアラー支援に係る実態調査

調査票（高齢版・障がい版）への有識者会議の意見対応結果

設問番号		修正を要する状況	対応	有識者
高齢	障がい			
(10)	(18)	「趣味や余暇活動」の例示を（旅行のみではなく）具体的にすること。	「催し物」等の選択肢を追加	松本副座長
(13)	(21)	「困ったことや、悩んでいること」の設問において、（いわゆる「きょうだい児」を抱えるケースなどを念頭に）「未成年の子どもの将来」や「自分以外の家族への負担に対する心配」に関する選択肢を設けること。	左記のとおり選択肢を追加（括弧書きで18歳未満とそれ以外を区分）	澤田委員
(17)	(34)	「利用料の負担感」の選択肢について、「サービスの満足感」と並びを揃え、「どちらともいえない」の選択肢を用意すること。	左記のとおり選択肢を追加	今西委員
(24)	(25)	「生活への影響」について、介護等による影響という意味では前々問「健康状態への影響」と同じなので、その次に並べること。	設問の流れを再検討した結果、元の順を維持	今西委員
(34)	(16)	「分担者が行う介護等への評価」のような設問について、必要性を再考すること。なお残す場合は、選択肢の内容に応じて設問を分割など、所要の修正を講じること。	「分担者における負担感」と「分担者の負担軽減のために望むこと」といった内容の設問に分割する	松本副座長
(36)	(28)	「現在のくらし向き」に関する設問について、「くらし向き」だけでは設問の趣旨が伝わらない可能性があるため、もう一步説明的にするなど、わかりやすさに配慮すること。	括弧書きで「生活の様子や家計の状況」を追記する	今西委員
(37)	(29)	「今後のくらし向き」に関する設問について、ここは「見通し」であるから、「わからない」の選択肢は、「見通しが立たない」などとするほうが妥当	左記のとおり選択肢を修正	今西委員